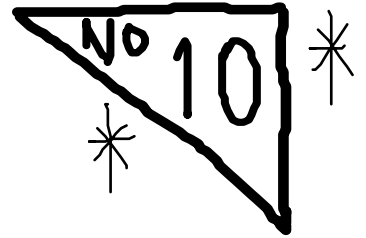




おいし-OEC- ニュースレター



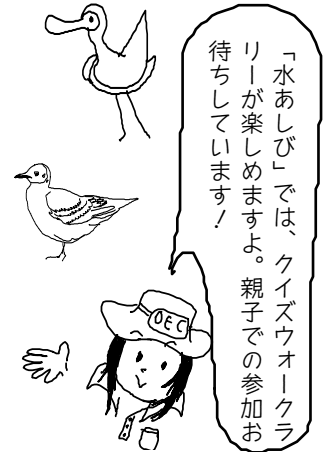
NPO 法人 おきなわ環境クラブ

ごあいさつ

こんにちは。暑かった沖縄にも、やっと秋らしい涼しい風が吹くようになってきました。南に帰る鳥を送り、北から来る鳥を迎える、まさに渡り鳥の季節に近づいてきましたね。

12月には、恒例の『第13回 国場川 水あしび』が豊見城市にある「漫湖・水鳥湿地センター」で開催されます。OECは、今年も参加しますので、皆さんお誘いあわせのうえ遊びにいらして下さいね。お待ちしております！

さて、今回のニュースレターは、おかげさまでNo.10の発行になりますが、前回4月発行から10月までの半年間によるOECの活動をご紹介しますと思います。「今後の主な予定」や「OECからのお知らせ」も是非チェックして下さいね！



研究員 金城絵理奈

環境NPOの課題

環境NPOは、福祉NPOに比べ経営感覚が鈍いといわれます。その証拠に環境と福祉の両分野で行われる活動助成金の募集では、環境分野の申請件数が福祉の半数以下にとどまる例が多く見られます。経営（運営）感覚の違いが、資金調達の一つである助成金の応募数にも現れているといえます。

両分野におけるNPO経営感覚の違いは、提供される「サービス」と「もの」を受ける対象（受益者）の範囲とその成果がはっきり確認できるか否かに起因していると考えられます。福祉NPO活動では個人を対象にその成果がはっきり見える例が多いのに対し、環境NPO活動では、受益者の範囲が不明確で不特定・多数になり、しかもその成果がはっきり見えないことに加え、それが現れるのに長い年月を要することなど、その違いが理由だと思えます。

環境NPOの当クラブ（OEC）活動でも、受益者（対象）範囲とその成果がはっきり確認できる、例えば漂着ごみの清掃や植樹、社会的に関心の高いセミナーや観察会には、いつも参加者が多くなる傾向があります。つまり福祉NPO活動をヒントにすることで、今、受益者（対象）範囲とその成果がはっきり確認できる、しかも社会的なニーズに合った「サービス」と「もの」を提供していくことで対価を得て、経営感覚に優れ財政的にも自立する環境NPO活動が求められています。

事務局長 下地邦輝



写真1. 漫湖南岸の清掃活動



写真2. うるま市洲崎でのマングローブ植樹



写真3. 人気の高い野外観察会

最近の活動(2007年4月～2007年10月)

助成金事業

地球環境基金助成(独立行政法人 環境再生保全機構)

- 5/29 平成19年度地球環境基金内定団体説明会 場所:福岡県博多市 研究員 川上典子
- 環境教育プログラム教材作成のためのフィールド調査:宮古島6回、西表島1回、竹富島1回
 - サンゴ礁海岸の生態系調査とプログラム作成のためのフィールド調査:沖縄本島大度海岸3回、石垣島1回
- 10/1 第1回 報得川セミナー「報得川水質の現状」講師:事務局長 下地邦輝
「私たちの生活排水」講師:小波津昭子・根川八重子(西原町生活排水対策指導員)場所:糸満市役所

全労済地域貢献助成金事業 特別助成団体(全国労働者共済生活共同組合連合会)

- 8/3 平成19年度 全労済地域貢献助成事業『贈呈式』出席 研究員 金城絵理奈 場所:全労済本部会館(東京新宿)

受託事業

沖縄県地域環境セミナー 年6回(沖縄県文化環境部環境政策課)

- 5/9 第13回「沖縄県のISO14001-環境マネジメントシステム」講師:沖縄県環境文化政策課 場所:県庁4階講堂 人数:200名
- 6/20 第14回「エコアクション21のすすめ」講師:古賀彰(沖縄県環境管理技術センター) 場所:沖縄県男女共同参画センター(ていりる) 人数:30名
- 7/25 第15回「琉球の自然とその成り立ち」講師:大城逸朗(OEC会長) 場所:県庁4階 第3会議室 人数:30名

沖縄県地域環境センター・出前講座 毎月1回(沖縄県文化環境部環境政策課)

- 5/11 第13回「鏡原中学校 漫湖の環境について」講師:小澤宏之(県環境科学センター)・保村亨(沖縄エコツアーガイド) 場所:環境省 漫湖水鳥・湿地センター 人数:190名
- 6/22 第14回「ストップ地球温暖化の取組み」講師:高平兼司(県公衆衛生協会) 場所:学校法人KBC学園インターナショナルデザインアカデミー 人数:21名
- 7/20 第15回「沖縄の天然記念物 ～在来種・外来種ってなあに～」講師:佐々木健志(琉大 風樹館) 場所:若狭小学校 体育館 人数:180名
- 8/20 第16回「僕たち私たちができるストップ地球温暖化」講師:キャロル涼子(県公衆衛生協会) 場所:与那原町あかぎ児童館 人数:25名
- 9/19 第17回「宮城島の湧水のしくみ」講師:平川節子(マングローブEEクラブ) 場所:宮城小学校 人数:14名
- 10/4 第18回「座喜味城跡について」講師:保村亨(沖縄エコツアーガイド) 場所:誦谷小学校 人数:109名(5年生)

沖縄県地域環境センター・野外観察会 年6回(沖縄県文化環境部環境政策課)

- 6/2 第7回「おきなわの海岸と干潟の話」鹿谷麻丈・鹿谷法一(しかたに自然案内) 場所:南城市文化センターシュガーホール和室・佐敷干潟 人数:31名
- 7/9-11 第8回「夜のサガリバナ鑑賞会」講師:保村亨・稲福勉・朝武士玲子(沖縄エコツアーガイド) 場所:県庁構内 人数:410名
- 8/14 第9回「夏休み身近な自然探検 末吉の森～森の指令ゲーム」講師:藤井晴彦(エコビジョン沖縄) 場所:末吉公園 人数:37名
- 9/24 第10回「石垣島の国立公園を見よう・知ろう」講師:谷崎樹生(石垣島自然観察の会) 場所:石垣国立公園(川平石崎、川平湾、ネバル御嶽) 人数:37名
- 10/20 第11回「川満マングローブ観察会」講師:砂川博秋・山本ゆかり(宮古エコツアーガイド) 場所:宮古島市川満 人数:30名

沖縄県地域環境センター(沖縄県文化環境部環境整備課)

- 4月 沖縄県環境整備課 環境美化「ちゅら島守り隊」のホームページを開設(OECが管理運営を受託)
- 7/18 「ごみのポイ捨て防止公開パトロール」出発式 参加 研究員 金城美夏 場所:県民広場

独立行政法人国際協力機構(JICA)沖縄国際センター

- 4/3-6/15 集団研修 第4回 熱帯・亜熱帯地域におけるエコツーリズム企画・運営コース 場所:沖縄県内・本州各地 人数:9名
- 7/23 平成19年度「草の根技術協力のためのPCM研修」参加 研究員 金城絵理奈 場所:沖縄国際センター
- 8/6-9/21 地域別研修 第2回 持続可能な観光開発(ミクロネシア3国) 場所:沖縄県内各地 人数:6名
- 10/1-10/12 地域別研修 第2回 島嶼国漁村主導型水産業多様化促進コース 場所:沖縄県内各地 人数:8名

自主事業(環境教育・エコツーリズム事業)・その他

- 5/3 「世界遺産ツアー」ガイド:吉田豊英(沖縄エコツアーガイド) 場所:首里城、斎場御嶽 人数:4名
- 6/30 おきなわ環境クラブ 平成19年度定期総会 場所:国場自治会館
- 6/30 那覇市市場集落「サガリバナ鑑賞会」 場所:大嶺宅お庭 人数:約50名
- 7/10 「牧港川における水生生物調査」講師:比嘉宥海(浦添市生活排水対策指導員) 場所:浦添市牧港(浦西中学校裏)
- 8/8 糸満市立兼城中学校エコクラブ・がじゅまる児童エコクラブ『やんばるの川における水生生物調査』
ガイド:稲福勉(沖縄エコツアーガイド) 場所:平南川 人数:40名
- 9/8 芝浦工業大学環境システム学科中ロゼミ「漫湖周辺の見学」ガイド:保村亨(沖縄エコツアーガイド) 場所:漫湖周辺 人数:14名
- 9/14 JETRO 沖縄「首里城周辺ガイド」ガイド:屋宜マサ子(沖縄エコツアーガイド) 場所:首里城周辺 人数:15名
- 10/11-12 大謝名小学校(5年生)「宇地泊川における水質調査と水生生物調査」
講師:保村亨・比嘉宥海・與義守剛(沖縄エコツアーガイド) 場所:宇地泊川 人数:120名

～活動を少しでもわしく紹介しましょうね～

平成 19 年度全労済地域貢献助成事業『贈呈式』へ出席

宮古島には、行政支援による農業や水産業の基盤整備事業で造られた水辺に関する施設が多数ある一方で、一部の地域で十分に活用されていない現状があります。そこで OEC では、『地域で創る宮古島の水辺環境学習と体験プログラム』と題し、マングローブ遊歩道や地下ダム施設などを活用した「宮古島の環境教育活動の軸作り」を構築するため、表題の助成事業に申請をし、採択されました。この活動では、OEC 宮古支部を企画調整役に多くの宮古島市民や施設のある周辺集落、また旅行会社などと一緒になって「水辺の自然と環境」の学習と体験プログラムをつくり、地域に定着していくことを目指しています。

今年 8 月 3 日、東京新宿の全労済本部で「贈呈式」が開催され、全国から集まった各団体に助成決定通知書と記念品が手渡されました。また、各団体からプロジェクトに向けた意気込みの発表をおこない、会場は熱気に包まれました。



第 8 回 沖縄県地域環境センター野外観察会『夜のサガリバナ観賞会』

県庁の中庭にあるサガリバナの観察を行いました。観察会の初日は、地域環境センター長のあいさつやサガリバナの点灯式を行い、「水辺の植物であるサガリバナの観賞を通して、身近な自然を見つめ直す機会にしてほしい」と、観察会の趣旨が説明されました。訪れた方たちは、ガイドに質問をしたり写真を撮ったりと、思い思いに観察していました。5 日間の開催予定の中、後半の 2 日間は台風接近による悪天候のために観察会は中止となりましたが、3 日間だけで延べ 400 人以上の来客となりました。

夜、月の光に照らされた花を観察するのもいいものですね。季節の植物に触れ、自然と親しみやすくなってくれば嬉しいです。

第 15 回 沖縄県地域環境セミナー『琉球列島の自然とその成り立ち』

当クラブ (OEC) 大城会長が講師となって、沖縄で発見されたいろいろな化石や地層を通して、沖縄島の成り立ちの話をしました。「沖縄本島北部と本部半島は別々にできあがった」、「長い年月をかけて降り積もった黄砂が赤土になった」という話もあり、参加者にとっては、普段は知りえないことがたくさんあったのではないのでしょうか。

ウミガメの「肩の骨」の化石を紹介し、骨の大きさから考えると、大昔は全長 3, 4 メートルものウミガメが琉球列島の周辺にいたと説明しました。参加者からは、「貴重な歴史の話を聞いた」、「とても興味深い話だった」との感想を頂きました。化石から推測する、太古のロマンあふれる話でした。



自主事業 報得川と美海の会『やんばる平南川における水生生物調査』

糸満市を流れる「報得川」は、平成 17 年度に「日本一汚れている川」として全国ワーストにランクづけられました。そこで行政機関や地域の市民団体、学校、研究機関などが集まり、きれいな報得川を取り戻そうと取り組みを始めています。今回は、報得川流域に住む人々が、やんばるのきれいな川を見て水に触れる体験をすることで「自分の地域の川と比較して考えてみよう」と、大宜味村の「平南川」で水生生物調査を実施しました。報得川近隣の兼城中学校エコクラブと、がじゅまる児童エコクラブ、また教員や保護者の皆さん約 40 名が参加し、子どもと大人と一緒に川の水質や周辺の豊かな自然環境を知ることで、きれいな川のイメージを共有できた観察会となりました。

JICA 集団研修 第 4 回『熱帯・亜熱帯地域におけるエコツーリズム企画・運営コース』

世界の熱帯・亜熱帯地域の観光・環境分野の政府職員や NGO 担当者を対象に、自然・文化資源をいかしつつ環境に負荷を与えないエコツアーを企画・実践のできる人材育成の研修を実施しました。本州や沖縄県内各地の関係機関で講義や視察、実習をおこない、各自の職位に応じた帰国後の行動計画を作成しました。帰国研修員との情報交換では、すでに、沖縄での研修を生かして分野別に人材育成をはじめた方、セミナーの講師として日本・沖縄の事例を紹介する方などが多数います。また、ドミニカ共和国では、過去にこの研修に参加した研修員同士 (行政職員と NGO 職員の 3 名) で連携をとり、全国各地でワークショップを開催しながら、地域ごとの資源と課題の掘り起こしの事業を展開することになりました。今後の活躍が楽しみです。



ハカハカしながら慣れないバスに乗って案内をした初体験ガイド。出来たばかりの「ゆいレール」を使った都市型エコツアーでのガイド。斎場御嶽や首里城等も何十回ガイドしたのだろうか。

夏の暑い日差しの中や冬の寒い日、あるいは大雨の天候の中、1人からの案内をはじめ、ときには50人近くものお客さんを相手にご案内した。

ガイドになったきっかけは、沖縄の文化や歴史、自然などに興味を以前から持っていて、勉強したかった為「第1回 エコツアーガイド養成講座」を受講。始めてみると目からウロコのことばかりで、沖縄の深さ、ガイドの奥深さを知った。また最近では、他のガイド講座を受けるなど今でも積極的に勉強し続けている。



ガイドをして感じた事：お客さんに教えられる事の多さ。また、ガイドの視野は、沖縄からだけではなく、世界的な規模、日本の歴史からみた考え方を考慮に入れ、ガイドをしなければならないこと。そして歴史などの目に見えない表現法や言葉の難しさ。数えるときりがない！

最後に一言：これからも、自分の好奇心というアンテナを常に最大に広げ、興味あるものを常に探し続けることを怠らずにガイドを続けていきたい。

(沖縄エコツアーガイド 1期生：屋嘉比 紫紀)

耳よりの沖縄の薬草

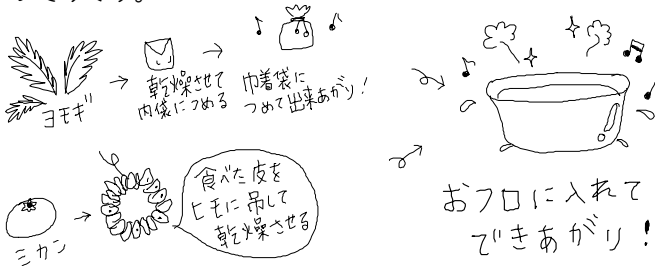
薬草風呂？！

沖縄では、お風呂に浸かる習慣がなかなかありませんが、皆さんに馴染み深い植物で楽しめる「薬草風呂」をご紹介します♪ 身近な植物で簡単に出来る健康風呂に入ってみませんか？

お風呂に用いる薬草には、体を温めるものとして、「ヨモギ（フーチバー）の葉」、「シソ（アカナ）の葉」、「ミカンの皮」が代表的。

かゆみ用としては、「ニガウリ（ゴーヤー）の葉」、「モモの葉」などがあります。

とりわけ冬場には、神経痛、肩こり、冷え症など体を温める薬草を。また夏場には、皮膚病の薬草を利用するといひそうです。



OECからのお知らせ

♪OECでは、今後企画して欲しいプログラムなどを募集しています！もしくは、「またあの勉強がしたい！」、「あのツアーをもう一度！」などのご要望や感想もお待ちしています。どしどし皆様のご意見、おもしろいアイデア等を教えて下さいね！今後の参考にさせて頂きたいと思ひます！



FAX、またはOECホームページまで「おねがいします！」

♪OEC宮古支部に新しいスタッフが1名加わりました！宮古島での環境教育活動の軸作りとして、主に企画・調整等を担当して頂きます。（＾＾）

今後の主な予定

沖縄県地域環境センター（2007年10月～2008年3月）

- 10月 第11回 野外観察会
「宮古島川満のマングローブ観察」
場所：宮古島川満
- 11月 第18回 地域環境セミナー
「世界自然遺産について」
場所：県庁内会議室
- 1月 第11回 野外観察会
「漂着ごみの観察と清掃」
場所：豊見城市瀬長島
- 2月 第19回 地域環境セミナー
「エコクッキングでエコライフ」
場所：那覇市リサイクルプラザ
- 3月 第12回 野外観察会
「首里周辺の湧水めぐり」
場所：首里周辺

※ 開催内容は都合により変更することがあります。詳しくは、下記までお問い合わせください。
沖縄県地域環境センター（県庁4階）TEL：866-2638
<http://www.ii-okinawa.ne.jp/people/kankvo-center/>

JICA 研修事業

- 10月（沖縄：約2週間、フィジー：約1ヶ月）
第2回 島嶼国漁村主導型水産業多様化促進コース
- 1月（約1.5ヶ月）
第1回 持続可能な観光開発（中米・カリコム諸国）

イベント情報

- 12月 第13回 国場川 水あしび 場所：水鳥・湿地センター
- 1月 2008年度 県民環境フェア 場所：うるま市

OEC（おいしー）ニュースレター No.10 2007年10月発行
特定非営利活動法人 おきなわ環境クラブ 国場事務所
〒902-0075 沖縄県那覇市国場370-107
Tel. 098-833-9493 Fax. 098-833-9474
E-mail: kokuba@npo-oec.com
URL: <http://www.npo-oec.com/>

特定非営利活動法人 おきなわ環境クラブ 宮古支部
〒906-0301 沖縄県宮古島市下地字川満1026
Tel&Fax. 0980-76-2696